

第1部 講演

「3.11 被災地と音楽」



お話 ■吉川 和夫 氏 (KIKKAWA Kazuo)

「いつかまたピアノが弾きたいな…」少女のひと言から、震災発生3か月後の仙台で、「被災地へピアノをとどける会」が始まりました。活動を通して見た「被災地と音楽」のさまざまについてレポートします。

<プロフィール>

作曲家。室内楽曲、合唱劇などを中心に作曲活動を展開。宮城教育大学教授。「被災地へピアノをとどける会」副委員長。

第2部 ミニ・コンサート



「被災地、未来にむかって」

震災の発生以来、様々な地域でボランティア演奏をしてまいりました。被災者の方々とお会いするたびに、皆さんご自身が活動し、発表するイベントが増えてきたように感じます。今回は「元気」や「夢」や「希望」をテーマとした曲目を中心に お話と演奏をお届けいたします。

お話・演奏 女声アンサンブル Diva-Ranger (ディヴァレンジャー) / 聖徳大学卒業生

ユニー・レイズ・ミー・アップ / B. グラハム作詞、R. ラヴランド作曲

演奏曲目 夢をあきらめないで / 岡村孝子作詞・作曲

君とみた海 / 若松欽作詞・作曲 他



日 時 平成27年3月7日(土) 15:30 ~ 17:30

場 所 聖徳大学1号館 香順メディアホール(松戸駅下車東口徒歩5分)

定 員 150名

申込方法 生涯学習課へお電話 または 窓口にて受付
定員になり次第、受付終了

無 料
要 予 約

※本企画は、チャリティとして開催し、募金は復興支援として宮城県担当部局にお渡しする予定です。

お申込み・お問合せ

聖徳大学生涯学習課 ☎047-365-3601

〒271-0092 千葉県松戸市松戸1169 聖徳大学生涯学習社会貢献センター内